

ランチョンセミナー 16 (LS16)

現地
開催

日時

4月6日 日 12:45～13:45

会場

第8会場 6F 金沢市アートホール

皮膚と栄養の関係

～角化性病変におけるレチノイン酸とレチノールの違い～

座長

とりい皮膚科クリニック 院長

鳥居 靖史 先生



演者

みぞぐちクリニック 院長

溝口 徹 先生



セミナー概要

皮膚と栄養は深く関係している。保険診療で用いられる外用薬にも亜鉛やビタミンDが含まれるものがある。また保険診療で皮膚疾患に処方可能なビタミン剤なども存在する。

ニキビの治療では、ビタミンA誘導体であるイソトレチノインが用いられることが多いが、特有の副作用で継続が困難になることも多い。

病態改善に必要な栄養素を最適用量用いる治療法であるオーソモレキュラー栄養療法は、皮膚疾患だけでなく各種炎症性疾患、精神疾患、発達障害さらには不妊治療における補完治療としても注目されている。今回の講演では、皮膚と栄養の深い関係について基礎的な内容について触れ、同じビタミンA誘導体であるイソトレチノインとレチノールの体内における代謝の違いなどについてお伝えする予定である。

共催：第41回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会
／株式会社MSS



© 2025 MSS, Inc.